



NPO法人ぶうしすてむ通信

コンピュータ



2009年
8月号

特定非営利活動法人「ぶうしすてむ」って何をしているの？

パソコンやインターネットは障がい者にとっても有効なコミュニケーション手段。この数年、パソコンはまさに「パーソナル」になり、誰もが利用できるものになりつつあります。「インターネット」の発達により、これまで難しかった障がい者の自宅にいらしての「コミュニケーション」を身近なものにしてくれました。「ぶうしすてむ」は、97年にこのような時代背景のもとに生まれた、パソコンによる障がい者の活動と就労を支援するNPO団体です。障がい者がパソコンやインターネットを利用することにより、真のノーマライゼーション社会を実現することを理想にしています。

就労関係

2009年は他の団体との共同年になっています。県発達障害者支援センターや昨年から続いている新居浜や八幡浜の支援センターとの1T研修、今治来島会クラブマンとの発掘遺物を通じた幅広い研修の展開や、映画を通じたネットワークがあります。また、まつやまNPOサポートセンターを通じた松山市支援の障害者就労プロジェクトや、他のNPOとの連携も厚くなっています。県外ではNPO法人イーパーツとの連携やその他多くの団体の見学から交流が始まりました。

その様な中、障害者の働く姿を見てもうい知ってもうたためとして、愛媛県が募集をしていましたパートナーシップ推進事業の提案をしましたが、残念ながらこの提案は採用になりませんでした。しかし折角多くの団体の協力を得るところまで来ていましたので、様々な働く姿をDVD化して多くの人に見てもらおう機会をつくりたいと考えています。

障害者在宅就業の実績は順調に推移し規模も大きくなりましたので、働いてもらっている人達の雇用をと考えました。障害者在宅就業では受注やメンテナンスを行う人のコスト負担をどの様にしているかが課題としてありましたのでハローワークに相談しました。結果的には補助金の対象にならない事が分かり今後の課題として残っています。ただ、福祉的な支援を受けながらの在宅就業を目指す方法もあり現在その方向で検討しています。

就労向けの研修として松山市以外の2地区で開催しました。松山近郊では高度な技術習得のための研修と初心者向けの研修を開催しました。現在は求職者向け愛媛県松山高等技術専門校受託事業「実践能力習得科研修」を受講者7名で、住宅平面図・造船CAD発掘遺物関係のデジタル処理・ビデオDVD編集の研修を行っています。

出来る人の少ない技術を持つ事は在宅で自立できる近道だと信じています。しかし残念ながら、高度な技術の習得を目指す人が少ない。また、ホームページやチラシのデザインが出来る人を探しています。



旅 常磐線 福島県

一人旅が好きです、孤独感の中で時間を過ごす。写真はあまり撮りません。その方が記憶に残る様な気がするからです。今回は東北の入り口福島県の太平洋側をご案内しましょう。出発の日、眼下の雲に飛行機の影が映って回りに虹色の輪が見えました。いい旅を約束してもらったと思えました。

福島県は信夫（しのぶ）の里と言われ、しのぶ心の歌枕の地でもあります。百人一首にも「しのぶもじずり」が出てきます、もじずりとは昔の衣の染め方らしい。福島は会津・中通り・浜通りと分けるようです、気候や文化が違うのでしょうか。天気予報も分かれていました。さて今回は浜通りのご案内です。

いわき市は常磐炭坑がありました、ここでは石炭から石油へのエネルギー革命の時代、九州の三井三池炭坑のような悲惨な歴史を聞きません。映画「フラガール」の地でもあります。昼間から湯本温泉で汗を流しました。

勿来の関は白河の関と念珠ヶ関とともに奥州三古関と呼ばれ、「来るなかれ」を意味する歌枕の地で駅から坂道を3キロほど登ったところにあります。太平洋が眼下に見え遠くいわき市が望めます。入り口では源義家の銅像があり、「吹く風をなこそこの関と思へども道もせに散る山桜かな」阿部氏との戦いの前か後か、この地を通りかかったのでしょうか。小野小町や紀貫之、そしてあの実方の歌もありました。山道の両側は山桜の木がたくさんあり、春なればと思いました。

駐車場の蝉のむくろや勿来関

陸奥の勿来の関の松風に秋を拒むか蝉の声聞く

常磐線は仙台を出て、このあたりから東京に向けてスピードが上がります。そして水戸を過ぎ秋葉原、上野駅終点となります。



パソコンボランティア活動報告

今年度から愛媛県発達障害者支援センターと共同で発達障害の子どもたちにパソコンを使っていることをしてもらおうイベントを毎月開催しています。

4月には「パソコンの分解」を行いました。デスクトップパソコン、ノートパソコンなど、いろいろなタイプのパソコンを分解したのですが、ハードディスクや光学ドライブはもちろんマザーボードまで取り外して、中にはキーボードのキーの1つ1つまでバラバラに分解した子もいて、普段なかなか体験することができない貴重な体験ができました。

5月にはバラバラにしたパソコンを組み立てて行く作業を行いました。写真付きの詳細に組み立て手順を書いたマニュアルを見ながら電源ユニット、マザーボード、メモリ、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMドライブなどを手際よく組み立てて6台分のパーツを用意していたのですが、時間内にすべて組み上がり、モニター、キーボード、マウスを接続し、あらかじめハードディスクにインストールしていたWindowsXPが起動するのを確認するところまでできました。自分たちで組み立てたパソコンの電源を入れてWindowsが起動するのを見て、子どもたちは大喜びして達成感を味わっている様子でした。6月には「ワードを使って自己紹介シートを作ろう！」というのを砥部の作業場で行いました。子どもたちにワードで自己紹介をするためのシートを作ってもらったのですが、デジカメで撮影した自分の写真をワードの文書に貼り付けて、好きなことや嫌いなこと、得意なことや苦手なことなどを書いてもらい、さらにイラストや写真などで各自それぞれが個性的なものを作成して、印刷した用紙を見せながらみんなの前で発表してもらいました。最初はなかなか進みませんでしたが、ボランティアスタッフがいろいろと質問をして聞き出して行き、徐々に好きなこと、嫌いなことなどが出てくるようになり、何が得意で何が苦手なのかも明確になってきました。こうしたやり取りの中で子どもたちとボランティアスタッフとの距離も縮まり、良い交流ができたのではないかと思います。

7月はパソコンとは関係なく木材を使って、いろいろな物を作ってもらおう作業を行いました。パソコンと違ってノコギリで角材を切ったり、トンカチで釘を打ったりと危険を伴う作業もあったのですが、怪我もなく無事に終わることができました。男の子は大小さまざまな箱や船、女の子たちは鉛筆立てや花のオブジェなど、かわいい小物を作りました。

発達障害というのは自閉症、ADHD、アスペルガー症候群など、いろいろな症状があるのですが、実際には一人一人違って、「普通の人よりも個性が強い人たち」という印象を受けています。知的レベルは非常に高く、何をしても飲み込みが早いように思います。

ただ、集中が続かなかったり、整理整頓が苦手だったり、他の人とコミュニケーションを取るのが苦手だったりするため、一般社会の中ではなかなか受け入れられないという現状があります。周りの人の理解さえあれば、十分に力を発揮して社会に貢献することができると感じています。誰でも苦手なことはありますし、得意な分野をとことん追求して伸ばしていくのがベストではないかと思えます。とかく人は他人の悪いところにはばかり目が行きがちですが、人のよいところを見つけてそれを伸ばして活かすということの大切さを、彼等との交流を通して改めて感じます。

さて、今回のイベントは「アイロンプリントを使ってオリジナルTシャツを作ろう！」です。どんなTシャツができるのか楽しみです。

障害者のための

パソコン支援ボランティア募集

現在ぶうしすてむでは、各種講習会の開催及び各種事業運営のほか、障害者（上下肢障害、視覚障害、聴覚障害など）からの依頼で、次のようなボランティア活動を行っています。

- パソコンに関する各種相談（インターネット関連、アプリケーション操作関連）
- パソコンの定期的な学習指導（デジカメ、ワード、エクセル、その他）
- パソコンの単発的な学習指導（同上）
- パソコン不具合修理、設定変更等
- 各種学習会等の講師、アシスタント等
- 各種事業活動の広報用ポスター、チラシ作成等
- 電子基板の半田付けなどの他、参加可能な活動

みなさまのパソコンボランティア活動へのご参加をお待ちしております。ご協力していただける方は下記までご連絡ください。



特定非営利活動法人 ぶうしすてむ 事務局

〒790-0824
愛媛県松山市御幸2丁目1-16
TEL 089-923-5002
FAX 089-927-1557
E-mail staff@busystem.jp
<砥部作業場> 伊予郡砥部町八倉170
TEL 089-989-4400
ホームページ <http://www.busystem.jp/>

パソコン・ワンポイント・レッスン

「ペイントを使ってわかりやすく説明しよう！」

パソコンの設定方法などを誰かに電話やメールで説明する時に、言葉や文章だけではなかなか伝わらないと感じたことはないでしょうか？

そんな時に画像をメールに添付して送って、その画像を見ながら電話で説明をするとすぐに設定できたりするものです。

今回はわかりやすい画像を簡単に作成する方法を説明します。使用するソフトはWindowsに標準で付いている「ペイント」というソフトです。

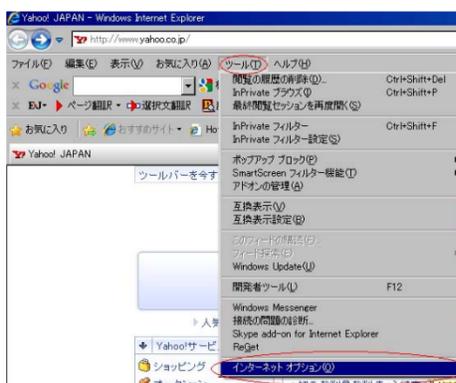
[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ペイント]とクリックしていけば起動します。インターネットエクスプローラーを起動した時に最初に表示されるページを変更する方法を説明したい場合だと、まずインターネットエクスプローラーを起動して画面上部のメニューバーから[ツール(T)]をクリックして[インターネットオプション(O)]のところにもウスポインターをあわせた状態で、キーボードの右上にある[PrtScn]を押します。この[PrtScn]のボタンは、現在モニターに映っている画面をコピーする機能です。ノートパソコンや一部のキーボードでは[F]キー(ファンクションキー)を押しながら[PrtScn]のキーを押さないとコピーされないものもあります。続いてさきほど説明した手順で「ペイント」を起動し、メニューバーの[編集(E)]→[貼り付け(P)]とクリックします。

(画像 1)



するとインターネットエクスプローラーの画面がペイントの画面に表示されます。さらにわかりやすくするため、[ツール(T)]の部分と[インターネットオプション(O)]の部分に赤丸を付けます。

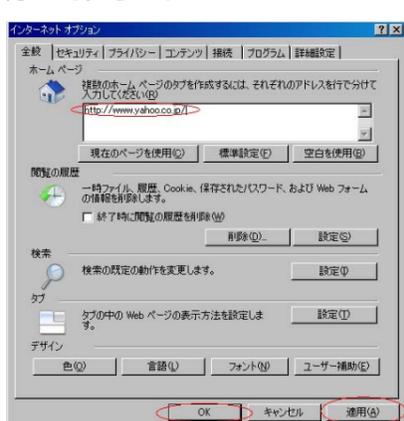
(画像 2)



ペイントの画面の左側にあるツールバーの左下にある楕円のマークをクリックし、画面左下にあるカラーパレットの赤色のところをクリックします。[ツール(T)]と書いてあるところの左上あたりにマウスポインターを持って行き、左クリックしたまま右方向へドラッグすると楕円が描かれます。もしうまく描けなかった場合は[編集(E)]→[元に戻す(U)]で元に戻りますので、何度でもやり直すことができます。うまく[ツール(T)]の部分に赤丸で囲めたら、[インターネットオプション(O)]の部分も同じように赤丸で囲んでみましょう。最後にメニューバーの[ファイル(F)]→[名前を付けて保存(A)]で適当な名前を付けてファイルを保存すれば完了です。

次にインターネットエクスプローラーの画面を出して、メニューバーから[ツール(T)]→[インターネットオプション(O)]とクリックして、インターネットオプションの画面が出た状態でキーボードの[PrtScn]を押してコピーします。ペイントの画面を出してメニューバーの[ファイル(F)]→[新規作成(N)]をクリックすると新たに真っ白な画面が表示されますので、[編集(E)]→[貼り付け(P)]とクリックして貼り付けます。そして最初に表示したいサイトのアドレスを入力して[適用(A)]→[OK]とクリックするのですが、その3箇所にさきほどと同じ手順で赤丸を付けていきます。

(画像 3)



3箇所に赤丸を付けたらメニューバーの[ファイル(F)]→[名前を付けて保存(A)]とクリックして適当な名前を付けてファイルを保存します。あとは保存したファイルをメールに添付して送信すればOK。意外と簡単にできることがわかったと思います。ぜひ試してみてください。

ぶうしすてむではパソコンの設定や不具合が出た場合の対処方法などの技術情報を質疑応答するメールリストがあります。今回のペイントのことも含めて、うまく出来なかったりとか何か困ったことや、設定方法などでわからないことがありましたら、きっと詳しい会員の方がアドバイスしてくれると思いますので techML@busystem.jp 宛てにメールを送って下さい。

簡単なことから高度な技術まで、何でも受け付けています。
※ ご質問がありましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。
staffML@busystem.jp



バリアフリー情報

お店紹介

「パンステージ メリー」

松山市南土居町 540-1 Tel 089-970-4824

営業時間 6:30~19:00 定休日 月曜日

http://www.panstage-merry.jp/

以前は来住町にあったお店が南土居に移転しました。

平成21年1月30日にオープンしたばかりで、いつも多くのお客さんと賑わっています。駐車場も広々・店内バリアフリー・車椅子も利用OKなトイレ・無料サービスのコーヒー・飲食スペース有等、うれしい設備いっぱいです。難点はいつものすごく混んでいることかも・・・(笑)

何と言ってもお薦めはラウンド食パン(プレーン・シナモン・大納言・チーズ・チョコ・メープル・ブルーベリー)は、予約してからの購入がベストです。混んでいるときは入店制限されますが、予約しておけば店内に入店できます。あとはカレーパンも有名です。種類も多く買いすぎちゃいますよ。ぜひ行ってみてください。



「駅なか浜っ子」

先日、八幡浜へ八幡浜チャンポンを食べに行きましたのでご報告。今回行ったのは、JR八幡浜駅のすぐ横にある「駅なか浜っ子」というお店です。

入口がすこしわかりにくいですが・・・

キヨスクのとなりです。一見お店がなさそうですが、ちゃんとあります。

物産品売り場の奥なのです。駅の一角なので、車がない人もJRで行けます♪身障者用トイレもあり、店の中も、やや狭ではありますが通れそうです。さて、気になるお味ですが・・・

私が知ってるチャンポンは、とんこつベースに、煮込んだ具材のチャンポンですが、八幡浜チャンポンは違うようです。先に具をいためているので、下味がついてて、結構美味。麺はやっぱりチャンポンらしく、ちょっと太め。スープは・・・しょうゆベース?と思ったら、ガイドを見ると、とりがらか魚のスープらしい。

そういえば、しょうゆじゃなかった



「私は身体障がい者1年生」

私は人工透析を始めて2年になる。

15年前から少しずつ腎臓機能が落ち、5年前から仕事を減らし始め、2年前の8月から人工透析を始めた。

クレアチニン値が上昇し体中が毒素に汚染されたとき、体がだるく、眠れず、いらして夜の病院の廊下をウロウロと歩いていて、看護師さんに人格が変わってきたといわれた。

奇しくも、8月13日自分の55歳の誕生日から透析を始めた。2〜3日目ぐらいから眠ることが出来るようになり、我を取り戻した。その後一週間ぐらいで退院し、自宅療養となった。それから通院の日々が始まった。諸手続きを済ませ、身体障がい者1級の手帳をもらったが、その実感はまだ薄かった。

体が透析に少しずつなれ、はじめてその意味を実感した。少し歩けばすぐにだれる。体が疲れるとすぐヘルペスがでる。運転も長時間できない、昼時間は体を横にして休む。たほうが楽、水分摂取の制限、食事の量の調整、体重管理、血圧管理等々少しノイロリゼ気味になる。長年透析を続けている人は偉いと思う。私のこれからの大きな課題は心のコントロールである。現在57歳の身体障がい者1年生ははつらつと元気に成長していきたいと考える。



編集後記

前回の発行が前年の12月でした。会員の活動報告が多かったので全部掲載できませんでした。次回にさせていただきます。[長嶺]

